

びーびーちゃん、
どうしたの？



えとぶん・たのび



びーびーちゃんは、くまのこです。
あるひ、びーびーちゃんは、
おかあさんから、はちみつくつきーを、
3まいもらいました。
「おかあさん、ありがとう！」
びーびーちゃんは、およろこび。



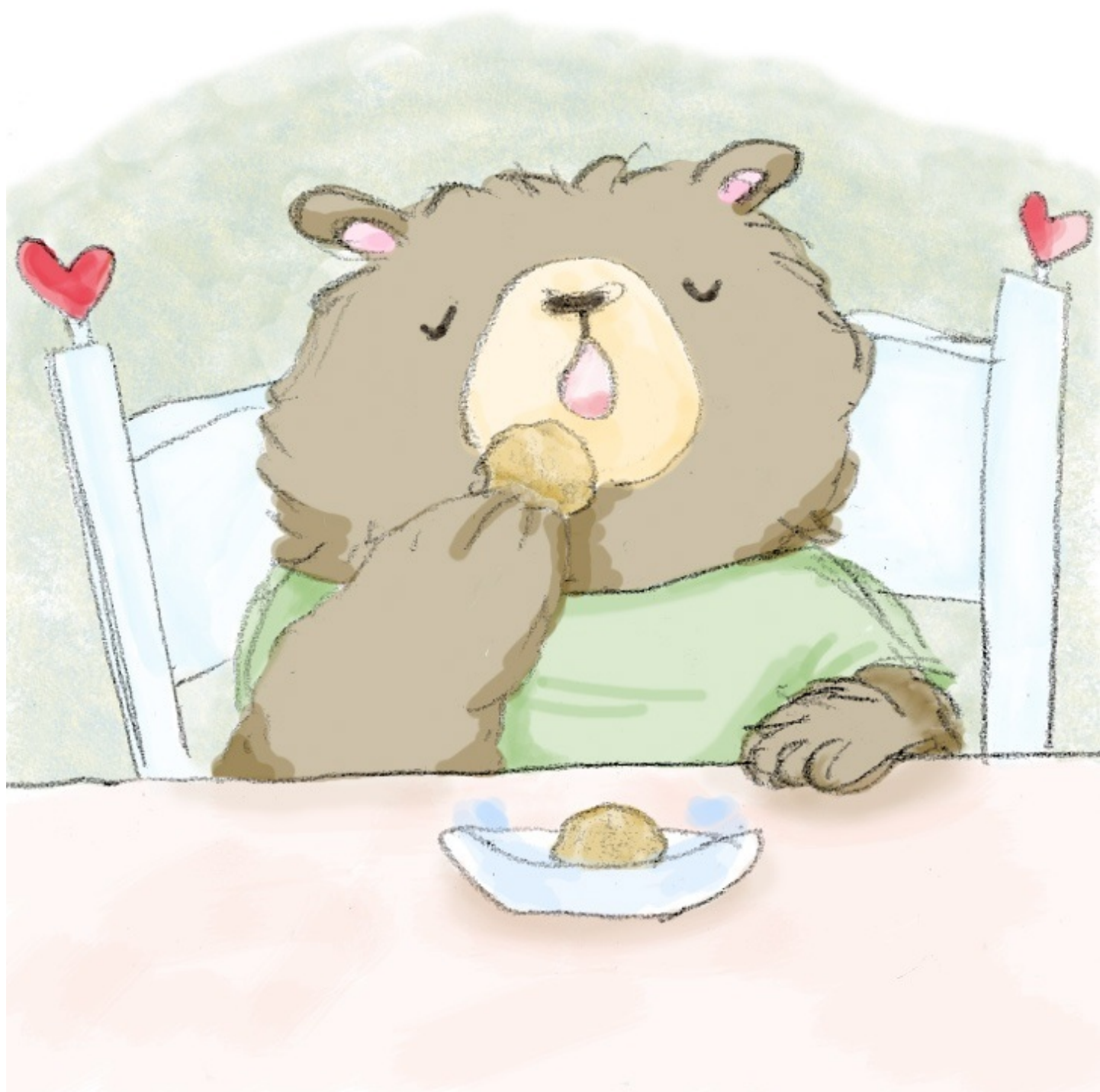
びーびーちゃんは、
さっそく1まいたべました。
もぐもぐもぐ、
「ああ、おいしい！」



くつきーは、2まいになりました。
「おいしいくつきーが、
2まいになっちゃった。」
びーびーちゃんは、ちよつと
さみしくなりました。



でもおいしかったから、
もう1まいたべました。
もぐもぐもぐ、
「ああ、おいしい！」



くつきーは、1まいになりました。

「あと、1まいしかないや。」

びーびーちゃんは、

もっとさみしくなりました。

「これをたべたらなくなっちゃう。
どうしよう。」



びーびーちゃんは、さいごのくつきーを、
ひとくちかじりました。

「ああ、かけちゃった。」

ふたくちかじったら、

のこりは、はんぶんになりました。

びーびーちゃんは、

なんだかかなしくなりました。

とてもかなしくて、

おいしいくつきーをたべているのに、

なみだがでてきました。



びーびーちゃんは、
のこりのくつきーを、
なきながらたべました。
そして、ぜんぶたべおわってから、
からっぽのおさらをみて、
えーん えーん
と、なきました。



おかあさんが、びっくりして
やってきました。

「びーびーちゃん、どうしたの？」

「くつきーが、

なくなっちゃったの。」

びーびーちゃんが、いいました。

「だれかが たべちゃったの？」

おかあさんがきくと、

「ぼく。ぼくが たべちゃったの。」

と、びーびーちゃんは、

なきながらこたえました。



おかあさんは、ちょっとおかしくて
わらいたかったけど、
わらわないでいました。
「それなら、くつきーはね、
なくなったんじゃないかと、
びーびーちゃんの
おなかのなかにあるのよ。」
びーびーちゃんは、おなかを
さわってみました。
やわらかくて、ふわふわで、
ちっともくつきーみたいじゃ
ありません。



おかあさんは、いいました。

「くつきーはね、びーびーちゃんのとや、あしが、おおきくなるためのえいようになつたの。」

びーびーちゃんは、すこしかんがえました。

「くつきーをたべたら、

ぼくが、おおきくなるの？」

「そうよ、すこしだけね。」

と、おかあさんにいわれて、びーびーちゃんは、もっとかんがえました。



「そしたらぼく、

くつきーになっちゃうの?」

おかあさんは、にっこりわらって
いました。

「くつきーばかりたべてると

くつきーになるかもね。

だから、いろんなものをたべてね。」

くつきーになっちゃったら

たいへんだ!

いろんなものを、

たべなくちゃ!



つぎのひ、びーびーちゃんは、
おかあさんから
いちごをもらいました。
いちごをぜんぶたべおわっても
こんどは、なきませんでした。
「あー、おいしかった。
ごちそうさまー！」



おしまい。